

授 業 科 目	装具学実習 I (体幹装具)		
教 育 内 容	専門分野	装具学	
担 当 教 員	吉岡久恵、星野元訓		
学 年	1	単 位 数	2
開 講 時 期	後期 (木・金曜日)	時 間 数	実習 90 時間

■ 授 業 概 要	
<p>本科目では、腰仙椎装具（モールド型・ナイト型）の採型（採寸）、製作、仮合わせ、適合までを行う。加えて頸椎装具（SOMI プレース等）、胸腰仙椎装具（ジュエット型等）の既製品を用いて適合を行うことにより、体幹装具に関する理解を深める。</p>	
■ 到 達 目 標	
<p>1) 体幹装具の構造、機能について理解する。 2) 体幹装具の採型、製作、適合を習得する。</p>	
■ 授 業 内 容	
第 1-4 回	<p>【腰仙椎装具モールド型】 <採寸及び採型>学生同士での採寸及び採型（ギプス包帯法）</p>
第 5-10 回	<p>【腰仙椎装具モールド型】 <陽性モデル製作>ギプス注型、陽性モデル修正</p>
第 11-13 回	<p>【腰仙椎装具モールド型】 <支持部製作>プラスチック板切り出し、プラスチック成形、トリミング</p>
第 14-22 回	<p>【腰仙椎装具モールド型】 <仮合わせ>支持部適合の点検、不適合箇所の修正 <仕上げ>トリミング、前当て取り付け、ベルト取り付け <評価>提出</p>
第 23・24 回	<p>【腰仙椎装具ナイト型】 <採寸>学生同士での採寸</p>
第 25-43 回	<p>【腰仙椎装具ナイト型】 <装具支持部製作>金属の曲げ加工練習、骨盤帯・後方支柱・胸椎バンド・側方支柱の加工（切削・曲げ・穴あけ）、各部の仮止め、内張りの切り出し・仮止め <仮合わせ>支持部適合の点検、不適合箇所の修正 <仕上げ>各部の結合（リベット）、ベルト取り付け、腹部前当て取り付け、内張りの貼付 <評価>提出</p>
第 44-45 回	<p>【胸腰仙椎装具】 <採寸及び採型>学生同士での採寸及び採型（ギプス包帯法）</p>

■ 評価方法

本科目は各論であるため、義肢装具基本工作論の単位を取得していることを前提とする。基本工作論の単位を取得していない場合は、本科目の単位を認定しない。

本科目は、平常点（授業中の質疑応答への参加度）と製作物の評価を総合して行う。

※提出物において期限を過ぎた場合、基本的に評価は0点とする。

【評価配分】

モールド型	ナイト型	合計
50%	50%	100%

■ 教科書

装具学 第4版

■ 留意事項

本科目は、義肢装具基本工作論（前期）において、全ての課題を提出し、装具基本工作法（本科目に必要な技術）を習得していることが、履修するための前提である。

<担当教員の実務経験>

吉岡 久恵：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に9年間従事。本学科の専任教員として4年勤務。

星野 元訓：本学科の専任教員として24年勤務。